

物理情報データの活用によるワークプレイスの変革

テーマ概要

- 高度に情報化された現代のデジタル社会において、オフィスや製造現場などあらゆるワークプレイスではデータを業務へ活用することで生産性を高めることが求められています。
- しかし、ワークプレイスに存在する物理情報がデータ化できない、データ化されていても検索性が悪く再利用ができないという場面も多く、まだ生産性が低い業務は多数あり、企業の経営課題となっています。
- PFUはドキュメントスキャナ、AI-OCRなど、様々な物理情報をデータ化するアセットを保有しています。今回は、このPFUの技術を活用し、ワークプレイスに存在する物理情報をデータ化/活用した現場の人々の生産性を向上する新たな事業共創に挑戦したいスタートアップの皆様を募集します。

提供可能なアセットとその特徴

- ドキュメントスキャナ、およびSDK
- AI-OCR、および非定型帳票のデータ構造化
- ARグラスによる物体スキャン（ドキュメント、シーン解析、物体識別など）
- データの真正性担保と検証プラットフォーム
- エッジAI搭載小型コンピュータ

アセットを活用した事業アイデア例

これまでに以下のような共創事例がございます

- PFUのドキュメントスキャナとQualcomm実装パートナーとの共創による顔認証付きカードリーダー
- PFUのイメージング画像認識技術と産業用組み込みコンピュータの製造技術を活用した、ロボットメーカーとの共創によるごみの自動選別装置
- PFUの光学設計技術とスタートアップが持つAI技術を組み合わせたAOIシステム

- PFUは「物理情報をデータ化」することを強みとしており、ドキュメントスキャナ技術を軸足に、読み取り対象を平面的な紙から、立体的な書籍やボトル、さらには人の顔へと拡張してきました
- 一方で、取得したデータを利活用し、ワークプレイスを変革することはまだ十分にできておりません
- この度は、PFUの技術と、自社が持つ技術やノウハウを活用し、ワークプレイスに存在する物理情報をデータ化/活用した現場の人々の生産性を向上する新たな事業共創の提案をスタートアップの皆様にご期待しております

特に募集したい事業内容/アセットを保有する協業先

- 次の2つの分野で事業アイデア/技術/ノウハウを有するスタートアップの皆様
- ①データの構造化：取得したデータを変換し、利活用がしやすい/可能な状態にするにする
- ②データ活用による業務効率化：取得/構造化されたデータを活用し、ワークプレイスの業務を効率化/高度化する



Caora 申請書作成ソリューション



医療機関・薬局向け

顔認証付きカードリーダー Caora

顔認証付きカードリーダー Caoraは、高品質・使い易さから医療機関で長年にわたりご愛用いただいている、イメージスキャナーと情報KIOSKの技術とノウハウを活用し、以下の特長を備えた製品です。

- ◆書類などの読み取りにご活用いただいている、イメージスキャナーの光学スキャンおよびOCR技術
- ◆再来受付でご利用いただいている情報KIOSKで培った、セルフ操作技術とノウハウ

<https://www.pfu.ricoh.com/caora/>

PFUの光学技術・画像認識技術を応用した撮像ユニットと独自アルゴリズムでビンを色別に認識できるAI認識エンジンを搭載したビジョンシステムです。

ベルトコンベア上を流れてくるビンカメラで撮影し、AI認識エンジンでビンの種類と位置を特定し、ロボット側にピッキング位置を通知いたします。

<https://www.pfu.ricoh.com/raptor-vision/>

